

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器 間欠泌尿器用カテーテル（JMDNコード：36125000）
（直腸用カテーテル（JMDNコード：10746000））

サフィードネラトンカテーテル

再使用禁止

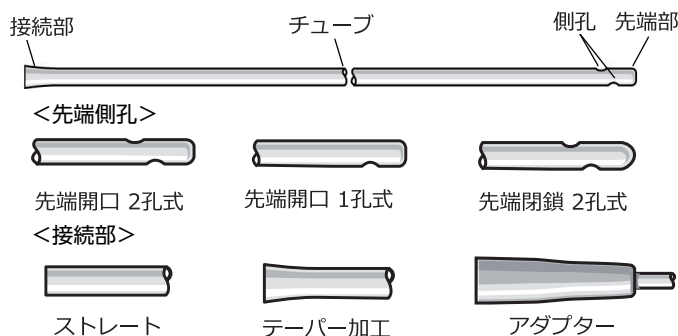
【禁忌・禁止】

＜使用方法＞

再使用禁止、再滅菌禁止

【形状・構造及び原理等】

＜構造図（代表図）＞



本品はポリ塩化ビニル（可塑剤：フタル酸ジ（2-エチルヘキシル））を使用している。

＜原理＞

本品は、尿誘導及び下部消化管からの排出又は注入のために用いるカテーテルである。

【使用目的又は効果】

＜使用目的＞

本品は、経尿道的に膀胱内に挿入し、導尿、採尿、膀胱洗浄を行うための尿誘導用カテーテルである。

また、経肛門的に直腸等の下部消化管に挿入し、減圧又は腸管内容物の体外への排出、造影剤などを注入するために用いる。

【使用方法等】

尿誘導用として使用する場合

1. 必要に応じて、手袋を着用する。
2. 尿道口及び尿道口周辺を消毒剤で消毒する。
3. 汚染に十分注意し、本品を包装から取り出す。
4. チューブの挿入部位に潤滑剤を塗布し、チューブを尿道口からゆっくり挿入する。

注意：チューブの先端部側から尿道口に挿入すること。

注意：挿入する部位の粘膜損傷に注意すること。

注意：潤滑剤を塗布後は速やかに挿入すること。

5. 必要に応じて、コネクター又はシリンジの筒先を接続部に確実に接続する。

直腸用として使用する場合

1. 必要に応じて、手袋を着用する。
2. 汚染に十分注意し、本品を包装から取り出す。
3. コネクター又はシリンジの筒先を接続部に確実に接続する。
4. チューブの挿入部位に潤滑剤を塗布し、チューブを肛門からゆっくり挿入する。

注意：チューブの先端部側から肛門に挿入すること。

注意：挿入する部位の粘膜損傷に注意すること。

注意：チューブを深く挿入しすぎないこと。〔直腸穿孔を引

き起こす可能性がある。〕

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

1. チューブを挿入する際は、感染防止に注意すること。
2. チューブを挿入する際は、挿入部位への入れすぎに注意し、本品の接続部側を残して挿入すること。〔接続部まですべて挿入すると、チューブが抜去できなくなる可能性がある。〕
3. チューブを抜去する際は、ゆっくりと引き抜くこと。〔粘膜損傷を引き起こす可能性がある。〕

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

1. 本品はポリ塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ（2-エチルヘキシル）が溶出するおそれがあるので、注意すること。
2. チューブ挿入時に異常な抵抗を感じたり、手技中に患者が痛みを訴えた場合は、速やかに操作を中止し、その原因を確認すること。また、担当医の指示のもと適切な処置を行うこと。
3. チューブを鉗子等でつまんで傷をつけないように、また、注射針の先端、はさみ等の刃物、その他鋭利物等で傷をつけないように注意すること。〔チューブに液漏れ、空気の混入、破断が生じる可能性がある。〕
4. チューブ及びチューブと接続している箇所は、過度に引っ張るような負荷やチューブを押し込むような負荷、チューブを折り曲げるような負荷を加えないこと。〔チューブが破損する、又は接合部が外れる可能性がある。〕
5. 尿誘導用として使用する場合
チューブを、尿道長に相当する深さまで挿入しても尿の排出が確認されない場合は、無理に挿入操作を続けず、速やかに操作を中止し、その原因を確認すること。また、担当医の指示のもと適切な処置を行うこと。〔尿道中でチューブが閉塞又は折れている可能性がある。〕
6. 体動等により本品がねじれると流路が閉塞する可能性があるの
で注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

＜有効期間＞

使用期限は外箱に記載（自己認証による）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：テルモ株式会社

電 話 番 号：0120-12-8195 テルモ・コールセンター

外国製造業者：泰尔茂医療産品（杭州）有限公司

Terumo Medical Products (Hangzhou) Co., Ltd.

国 名：中華人民共和国

